

青 春の輝き 飾りに込め



鈴木さん(右)らがデザインした七夕飾り

仙台の高校生

8日までの仙台七夕まつり期間中、クリスロード商店街(仙台市青葉区中央2丁目)のホテル「プレミアムグリーンプラス」前を、高校生らがデザインした七

夕飾り25本が彩っている。ホテルを運営する松月産業(仙台市)が企画し、常盤木学園高、聖和学園高、東北学院高、東北電子専門学校(計103チーム)434人が参加。選考会で入選した25作品が飾りに採用された。制作は鳴海屋紙商事

(同市若林区)が担った。

海と花火、SEND AI光のページェントをモチーフに吹き流しをデザインした常盤木学園高3年の鈴木心咲さん(18)は「(東日本大震災からの)復興への希望と今しかない青春の輝きを詰め込んだ。仙台の街に親しみを感じてもらえたらうれしい」と話した。

ホテル2階のレストランでは飾りの原案を展示。生徒らが来場者にコンセプトなどを説明した。松月産業広報部の伊藤健二マネジャー(55)は「仙台が誇る伝統行事を、若い世代をはじめ多くの人に届けたい」と語った。

(早坂美郁)